

## 繫

### 任期を終えて一文字

離と迷いましたが「離」という今置かれた状況に対して「繫」という人間の意思や行動力に希望を感じて。

## 3期6年を終えて

島根県保育協議会 会長 山口 記由  
(浜田市保育連盟 ちどり第2保育所)

会長3期目、令和スタートの2019年、松江く にびきメッセに1200名の保育関係者が集い、全国保育士会島根大会が開催されました。そして翌2020年。東京五輪の余韻も冷めやらぬ9月、第66回中国地区保育研究大会が盛会の中で終了…のはずでした。三重県津市で予定されていた全国大会はもとより各地のブロック大会もすべて延期となりました。島根県保育協議会も前半期に予定されていた総会、会議、研修会は中止となり、後半期から再開された対面による会議や研修については、感染予防対策を取りながら。また県外講師による研修会についてはリモートやオンラインを使って実施を致しました。

保育園の活動については、ここで語るまでもなく、園長先生や職員の皆さんが同じ状況下で苦しい判断や選択をせざるを得なかった一年だったと思います。しかしそのような中であっても保育現場が止まることなく機能することで、社会や経済の基盤を支え、そこに働く人（保護者）の生活を守る重要な職務であることも、あらためて認識する機会でもありました。

収束の兆しが見えない日が続きますが、『当たり前が当たり前でできないこと』が子どもたちに何も出来なかった言い訳にならないよう、保育者全員で知恵を絞り希望を持って、子どもたちと保育現場の未来を共に守っていきましょう。

また島根県保育協議会としても、この一年のコロナ禍で得た教訓を生かし、引き続き感染予防対策を講じた上で、来期の事業に取り組むことになると思います。会員の皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

各市郡組織からお出かけいただいた役員の方には、大変お世話になりました。任期中には2つの大きな大会の開催や準備に深く関わっていただきました。改選の行われる7月の総会から9月上旬の中国大会までの期間が短いこともあり、都合のつく範囲で新旧役員さんに実行委員としてお力添えいただくことになりました。私も大会実行委員長として最後のご奉公をさせていただきます。先行きの見えない状況が続きますが、終息を願い、万全の準備を整えて大会当日を迎えたいと思っています。

最後に、会長としての6年間を通じて、組織に加盟することの意義を、何らかの形にして還元できないものかと考える中で、総務広報委員会と紙芝居作家のよしと先生のご協力を得て形にすることができました。5月には皆さんのお手元にお届けできると思います。楽しみにお待ちしております。

# 新年度にあたって、新型コロナウイルスの感染者数が少ないからこそ大切なこと

掛札 逸美 (心理学博士。保育の安全研究・教育センター)

## 【略歴】

掛札逸美 (かけふだ・いつみ) : 1964年生。筑波大学卒。健診団体広報室勤務後、2003年にコロラド州立大学大学院心理学部 (健康心理学) 留学。2008年に博士号取得・卒業。産業技術総合研究所特別研究員を経て、2013年にNPO法人保育の安全研究・教育センター設立 (現在は任意団体)。著書は『3000万語の格差』(訳書)、『保育者のための心の仕組みを知る本』等。

島根県は、鳥取、秋田と並び、人口に対する感染者数(※)が少ない現状です。県が発表している陽性率(陽性数 ÷ 検査数)も1月に入ってから低く、感染拡大の様相ではないようです。

けれども、未就学児施設の皆さんは1年前から毎日、「自園から感染者が出たら…」と戦々恐々としていらっしゃるでしょう。たとえば、東京あたりでは感染が身近に迫り、そのためにかえって保育園でも差別にあうような話はほとんど聞かなくなりました。一方、皆さんの周囲では「感染でもしようものなら…」という空気がまだ強いはずです。

新型コロナウイルスは、従来の風邪と同じ仲間のウイルスにすぎません(感染しても8割の人は無症状かごく軽い症状、にもかかわらず、さまざまな後遺症が残ることもあるという点ではやっかいですけれど)。風邪をひいて差別されることはありません。インフルエンザにかかった人を差別する人もいないはず。健康心理学の視点からするととても重要な点なのですが、ウイルスは科学で対応できるのに、人間の心にある不安や恐怖は科学を無視してウイルスを化け物に育ててしまい、むやみに怖がったり、差別をしたり、効果のない「対策もどき」に走らせたりするのです。新型コロナウイルスと人間、どちらが怖いかと聞かれたら、私は「人間」と答えます。

感染は「悪」ではありません。飛沫・空気感染するウイルスを100%予防することはできません。未就学児施設は濃厚接触の場で、それは子どもたちにとって不可欠な価値です。過度な不安や対応で先生方が疲れきってしまったら、安全においてもっとも重要な年度明けの保育・教育に悪影響を及ぼしてしまいます。それどころか、保育・教育の中心にいるはずの子どもたちが割を食うことにもなります。

今後、皆さんの周囲で感染が広がる可能性もないわけではありません。「起きるかも」と備えつつ、でも、不必要な不安や、不安ゆえの無駄な対策で先生方が疲れきらないようにしながら、新年度を迎えていただければと思います。

保育の安全研究・教育センターのサイトで「安全」「コミュニケーション」の情報を掲載しています(「保育の安全」で検索)。このサイト冒頭に、昨年3月から新型コロナウイルス感染症に関連する情報を発信しているFacebookページのリンクも置いてあります。消毒・除菌の情報、検査時の対応法、保護者向けの各種掲示等のひな型等も掲載していますので、ご活用ください。

(※実際は「感染者数」ではなく、「陽性判明者数」。無症状の人も多く、検査をしなければ感染はわかりませんから、日本のように濃厚接触者の追跡・検査を絞っている場合、感染者数はずっと多いこととなります。)



## 令和3年度 大会・研修会予定 (島根県保育協議会)

大会・研修会名	開催日	開催地・開催方法	講師等
総会	7/13 (火)	松江市「くにびきメッセ国際会議場」	島根県健康福祉部 子ども・子育て支援課 課長
施設長研修会	12/1 (木)	出雲市「ビッグハート出雲」(コロナ感染状況によりWEBに変更する場合があります)	島根大学大学院教育学研究科 教授 肥後功一氏
新任職員研修会	調整中	調整中	めばえ保育園 園長 田中文仁氏 あすなろ第2保育園 園長 竹内寛和氏
主任保育士・主幹保育教諭研修会	10/27 (水)	WEB (ライブ配信)	東京大学名誉教授 前白梅学園大学 学長 汐見稔幸氏
食育推進研修会	12/11 (土)	出雲市「ビッグハート出雲」(コロナ感染状況によりWEBに変更する場合があります)	小島歯科医院 名誉院長 小島登氏
隠岐地区研修会	調整中	調整中	調整中
保育士・保育教諭スキルアップ研修会	11/20 (土)	WEB (ライブ配信)	島根大学医学部小児科 教授 竹谷健氏
第54回全国保育士会研究大会	10/13 (水) ~ 10/14 (木)	青森県青森市 (WEBでの開催を基本)	調整中
第64回全国保育研究大会	11/17 (水) ~ 11/18 (木)	三重県津市 (コロナ感染状況により柔軟に対応)	調整中
働き方改革セミナー (島根県受託事業)	調整中	調整中	調整中

## 令和3年度 福祉従事者研修・保育関連研修予定 (島根県福祉人材センター)

研修会名	場所・期日	講師
保育士処遇改善対応研修 保育士等キャリアアップ【乳児保育】	eラーニング (1月以降)	
保育士処遇改善対応研修 保育士等キャリアアップ【幼児教育】	<松江: 6/29 ~ 7/1> <浜田: 7/12 ~ 7/14>	島根県立大学保育教育学科 小山優子氏 矢島毅昌氏 幼児教育センター 講師
保育士処遇改善対応研修 保育士等キャリアアップ【障がい児保育】	<浜田: 8/2 ~ 8/4> <出雲: 9/13 ~ 9/15> <松江: 9/27 ~ 9/29>	島根大学大学院教育学研究科教職大学院 原広治氏 大阪健康福祉短期大学保育幼児教育学科 舟越美幸氏 出雲市立直江保育所 江角祥子氏
保育士処遇改善対応研修 保育士等キャリアアップ【食育・アレルギー対応】	eラーニング (1月以降)	
保育士処遇改善対応研修 保育士等キャリアアップ【保健衛生・安全対策】	<浜田: 10/5 ~ 10/7> <松江: 10/26 ~ 10/28>	島根県立大学保育教育学科 前林英貴氏 日本赤十字社島根県支部 講師
保育士処遇改善対応研修 保育士等キャリアアップ【保護者支援・子育て支援】	eラーニング (1月以降)	
保育士処遇改善対応研修 保育士等キャリアアップ【マネジメント】	<出雲: 5/12 ~ 5/14> <浜田: 5/31 ~ 6/2> <松江: 6/16 ~ 6/18>	女性ライフサイクル研究所フェリアン 津村薫氏 森崎和代氏
保育士処遇改善対応研修 保育士等キャリアアップ【保育実践】	<出雲: 8/23 ~ 8/25> <浜田: 8/30 ~ 9/1>	NPO法人あしぶえ 有田美由樹氏 田中小百合氏 島根県立大学松江キャンパス 矢島毅昌氏 秦昌子氏 岩田裕子氏 浜田市立長浜幼稚園 長尾佳保氏 松江市立城東保育所 福頼美恵子氏
新任保育士・保育教諭研修	<松江: 11/15 ~ 11/17> <浜田: 11/30 ~ 12/2>	島根大学大学院教育学研究科教職大学院 原広治氏 島根県幼児教育センター 講師 女性ライフサイクル研究所フェリアン 津村薫氏 森崎和代氏

## 編集後記

年2回の発行を計画していた保育協議会だよりですが、今年度は今号のみの発行となりました。しかも県保協の活動自体がかなり少なくなり、それに合わせて発信すべき情報も少なくなり、どんな誌面にすればいいかすごく悩んだ回でした。

・新型コロナウイルス感染症の予防対策は引き続き必要なので、掛札先生に寄稿していただきました。  
・役員交代のタイミングということで、会長だけでなく理事全員のあいさつを掲載することにしました。  
これ以外にも変わった角度から保育を考える企画にも取り組みたい気持ちはあったんですが、それにはもう少し活動時間が必要でした。来年度も事態はあまり変わらないので保協だより作りには苦労されると思いますが、新しいメンバーのみなさんから楽しい情報が発信されることを期待しています。

令和元年度～令和2年度

# 理事任期を終えて

お世話になりました！

- ・お名前
- ・施設名
- ・任期を終えて一文字
- ・一文字の理由



## 農

**森山幸朗**  
副会長（雲南）  
あおぞら保育園

農業団体の役に有り、感染リスクに備え、保育・食育を深めるとき、“農”的な空間と暮らしが支えである。

## 新

**堀江泰誠**  
副会長（出雲）  
たちばな保育園

令和の新年度に始まり、新たな役割を頂き、新たな気持ちで、新しい人のつながりを得た1年目。新ウイルスによって、新生活様式を模索し続けた2年目でした。

## 遇

**朋澤公香**  
副会長（かのあし）  
吉賀町双葉保育所

保協理事・事務局の方々、自園に関わるたくさんの方々、私の周りの方々、辛い仕事の数々も…みんなありがとう。

## 挑

**吉野英男**  
理事（松江）  
認定こども園  
玉湯さくら保育園

初めて松江市保育研究会の会長になり、詳しいことが分からないまま島根県保育協議会の役員になり皆様方大変ご迷惑をお掛けしながら2年間務めさせていただきました。保育園経営の苦勞などを経験しましたが、人間の最も初期の発達の時期の重要性を知りました。子供たちに何が必要なか、保護者の方に何を知って欲しいのか大変勉強になりました。子供達には保育園が必要である事を子育ての真っ最中の方に分かって頂きたい。この2年間ありがとうございました。

## 根

**田中文仁**  
理事（益田）  
めばえ保育園

全国大会の開催やコロナ禍での保育等を通して、島根県保協の目には見えない「根」っこの部分がより強くなったのではと思います。

## 考

**岩倉善光**  
理事（大田）  
認定こども園  
みどり保育園

存在意義・経緯・必要性・新しい方法・変化等について多くを見直し考えさせられた一年であった為。

## 楽

**相山 慈**  
理事（江津）  
認定こども園  
あさりこども園

大変なこともありました、多くの人との出会いなどがあり、トータルで考えると「楽しかった」と思える2年間でした。

## 会

**山崎恵美子**  
理事（邑智）  
いわみ西保育所

理事をさせてもらったことで、たくさんの方との出会いがあり、多くの知識や情報、考え方などに出会えたので！

## 繋

**佐々木文子**  
理事（公立部会）  
江津市立  
渡津保育所

各市郡の先生方とつながりができ、県や国の情報共有や協力して事業を行う大変さなど学ばせていただき、充実した2年間でした。

## 知

**松本元次**  
理事（私立部会）  
認定こども園  
比津ヶ丘保育園

私立施設部会会長をさせて頂き、コロナ禍で予定外の事もある中、多くの方に出会い、役員としての様々な事を学ぶ事ができました。

## 想

**植村千絵**  
理事（保育士部会）  
かきのき保育所

遠く離れた家族、友人、知人。すぐにも会いたいけど会えない今、毎日毎日「元気にしてるかな…」と想いを馳せながら健康を祈り続けた一年でした。

## 感

**土次あゆみ**  
理事（調理部会）  
あすなる保育園

出会いと経験の機会を与えて頂いたことに感謝し、様々な方の想いに共感し、感嘆し、感服し、本当に多くのことを学ばせて頂いた2年間でした。ありがとうございました。